



P R A G U E

P H I L H A R M O N I A

プラハ・フィルハーモニア管弦楽団

音楽の街プラハの精鋭たちが奏でる、鮮やかなボヘミアの響き
俊英、松田華音を迎えて贈る、魂を揺さぶる至高の名曲



スラブの感性が鼓動する
強く美しい、松田華音のラフマニノフ！

ピアノ：松田華音

Kanon Matsuda, Piano

©Ayako Yamamoto



チェコを代表するベテラン指揮者が
躍進を続ける、気鋭のオーケストラと来日！

指揮：レオシュ・スワロフスキー

Leoš Svárovský, Conductor

David Christian Lichtag

チャイコフスキー
Tchaikovsky

歌劇「エフゲニー・オネーギン」より《ポロネーズ》
Polonaise from "Eugene Onegin"

ラフマニノフ
Rachmaninoff

ピアノ協奏曲第2番 ハ短調 Op.18 (ピアノ：松田華音)
Piano Concerto No.2 in C minor, Op.18

ドヴォルザーク
Dvořák

交響曲第9番「新世界より」ホ短調 Op.95
Symphony No.9 E minor Op.95 "From The New World"

2025年10月6日(月)13:30開演(12:50開場)
Niterra日本特殊陶業市民会館フォレストホール
S席15,000円 A席12,000円 B席8,000円 U25チケット4,000円(税込)

U25チケット ・25歳以下(開催日時点) ・5/28(水)12時～光藍社WEBにて受付

アイ・チケット 0570-00-5310
<https://clanago.com/i-ticket>
芸文プレイガイド 052-972-0430
名鉄ホールチケットセンター 052-561-7755
<https://www.e-meitetsu.com/mds/hall/>
栄プレケ92 052-953-0777
Niterra日本特殊陶業市民会館(窓口販売のみ)
チケットぴあ/ローソンチケット/イープラス
光藍社チケットセンター 050-3776-6184(12～15時/土日祝休み)
光藍社WEB <https://www.koransha.com/>

■主催：クラシック名古屋、光藍社 ■後援：チェコ共和国大使館

■お問い合わせ：クラシック名古屋 052-678-5310

※未就学児のご入場はご遠慮ください。

※やむを得ない事情により出演者、曲目等が変更になる場合がございます。

アイ・チケットでの
WEB予約はこちら



U25チケットの詳細、光藍社
WEBでのお申し込みはこちら



5月28日(水)一般発売

芳醇な響きと躍動感に満ちたオーケストラ、 プラハ・フィルハーモニア管弦楽団が4年ぶりの来日！

チェコのオーケストラは独特の魅力を有している。それは、距離も近い音楽の都ウィーンに通じる中欧の香りと、いぶし銀のような東欧のテイストを併せ持った、温かくまろやかなサウンドだ。柔らかくしなやかな弦楽器と瑞々しい管楽器が織り成す芳醇でコクのある演奏は、まさしく唯一無二。中でも、古都の風雅さやボヘミア地方の空気感を反映したプラハのオーケストラは、日本人にある種の懐かしさを与えてくれる。

こうした伝統の強みに、清新な活力、柔軟な対応力、完璧な機能性を加えた、“チェコの今”を代表するオーケストラが、プラハ・フィルハーモニアである。

1994年に名指揮者イルジー・ビエロフラーヴェクによって創設された同楽団は、この巨匠の先導で強固な礎を築き、2008年から15年まで首席指揮者を務めたヤクブ・フルシャのもとで大きく躍進した。

その後さらなる熟成を加えた今回は、現在のチェコにおける最高クラスの演奏が披露されるだろう。旋律美と迫力に溢れたドヴォルザークの交響曲第9番「新世界より」、そして松田華音が演奏するラフマニノフの作品は同じスラヴ民族の音楽でもある。こちらは迸る情熱が、聴く者を魅了するに違いない。情緒豊かな至高の名曲が揃う、本公演をどうぞお聴き逃しなく。

柴田克彦(音楽評論家)



プラハ・フィルハーモニア管弦楽団 Prague Philharmonia

1994年に世界的な指揮者、故イルジー・ビエロフラーヴェク(1946-2017)主導のもと創設され、今日ではチェコのみならず国際的に高い知名度を誇るオーケストラとなった。このオーケストラを創設したビエロフラーヴェクは2005年より桂冠指揮者となり、2005年からはカスパル・ツェンダーが首席指揮者を務めた。その後2008年からチェコ出身で国際的に注目を集めるヤクブ・フルシャが首席指揮者、音楽監督に就任、2015年からはエマニュエル・ヴィヨームが率いている。いつも新鮮で活気に満ち、完璧主義であることが、創設時から刻まれるこのオーケストラの精神であり、ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンなどのウィーン古典派作品を核として取り組むことで得た独自の多彩な表現力が高い評価につながっている。ヴェンゲーロフ、マイスキー、イザベル・ファウスト、パユ、カウフマン、ネトレブコなど世界的なソリストと定期的に共演、海外ツアーや音楽祭への招待も多く、グラモフォン、デッカなど著名なレーベルより90タイトル以上のCDをリリースし多くの賞を獲得している。チェコの作曲家の作品にも積極的に取り組み、特にマルティヌーの作品を得意としている。

©David Christian Lichtag



レオシュ・スワロフスキー(指揮)

Leoš Svárovský, Conductor

プラハ音楽院でフルートを学んだ後、ヴァーツラフ・ノイマンの下で指揮法を学ぶ。チェコ国立歌劇場でズデニェク・コシュラーのアシスタントを務めた後、プラハ室内歌劇場、ヤナー・チェク・フィル、ブルノ・フィル、スロヴァキア・シンフォニエッタ、プラハ国立歌劇場などの首席指揮者を歴任。プラハ国立歌劇場では芸術監督も務めた。現在はスロヴァキア・フィルの首席客演指揮者、セントラル愛知交響楽団の名誉音楽監督、ブルノ・フィルの名誉会員を務めている。これまでにシュターツカペレ・ドレスデン、ザルツブルク・モーツァルテウム管、シュトゥットガルト・フィル、チャイコフスキー・シンフォニー・オーケストラ、東京都交響楽団等に客演。世界的なソリストと多数共演するほか、“プラハの春”、“モラヴィアの秋”を始め、数多くの音楽祭へ出演している。チェコにおいてはチェコ・フィル、プラハ・フィルハーモニア、プラハ放送響、ブルノ・フィルなど主要な管弦楽団と共演を重ねており、チェコを代表する指揮者の一人となっている。

©Ayako Yamamoto



松田華音(ピアノ)

Kanon Matsuda, Piano

6歳よりモスクワで学ぶ。ロシア最高峰の名門、グネーシン記念中等(高等)学校で学び、スクリャーピン記念博物館より2011年度「スクリャーピン奨学生」に選ばれ、外国人初の最優秀生徒賞を受賞し首席で卒業。モスクワ音楽院に日本人初となるロシア政府特別奨学生として入学、2019年6月首席で卒業。2021年モスクワ音楽院大学院修了。これまでにブレトニョフ、ゲルギエフ、パッティストーニ、インキネン、秋山和慶、円光寺雅彦、尾高忠明、小林研一郎、高関健、飯森範親各氏の指揮の下、ロシア・ナショナル管弦楽団、マリインスキー歌劇場管弦楽団、プラハ交響楽団、N HK交響楽団、読売日本交響楽団等と共演。ドイツ・グラモフォンより2枚のアルバムをリリース。2018年かがわ21世紀大賞受賞。

公式HP: <https://www.japanarts.co.jp/artist/kanonmatsuda/>

【ご注意とお願い】 ※チケットをご購入の際は、あらかじめ下記のことをご了承くださいますようお願い申し上げます。

■記載されている情報は2025年3月現在の予定です。諸般の事情により出演者、公演内容が変更になる場合がございますが、公演中止など、主催者がやむを得ないと判断する場合以外のチケットの払い戻しはいたしません。最新の情報については光臨社ホームページ(<https://www.koransha.com/>)にて発表しますので、チケットご購入後は、随時ご確認いただきますようお願いいたします。■未就学児のご入場はご遠慮ください。■チケットご購入後の変更・キャンセルはできませんので、予めご了承ください。■主催者の同意なくチケットを有償で譲渡することは禁止します。■会場内における飲食、喫煙はご遠慮ください。■写真撮影、録画、録音等は一切禁止させていただきます。■開演後のご入場は制限させていただきます場合がございます。■公演中は、他のお客様のご観賞の妨げになる行為(話し声、過度なブラボーなどのお声掛け)はお控えください。■注意事項をお守りいただけない場合、主催者側の判断でご入場のお断り、または途中退場をお願いする場合がございます。